

たか はし
高橋としえ通信

http://passy2016.com
平野事務所: 神戸市西区平野町芝崎331-2
岩岡事務所: 神戸市西区岩岡町岩岡1085-9

市政活動報告書 vol.5



本会議一般質問

ごあいさつ

暑い日が続いています。この市政報告書を作成している8月初旬は、オリンピックでの日本のメダルラッシュで日本中が沸いています。一方、東京、神奈川などの首都圏を中心に、新型コロナウイルス感染の再拡大が続き、特に東京では1日に3~5千人というレベルの新規感染者がでています。特徴は、非常に感染力の強いデルタ株の拡大が鮮明となっており、一方で特に20代~30代の若年層での感染拡大は家庭内感染の助長が憂慮される事態となっています。また急速な感染拡大を受け、医療崩壊を回避するとの目的でこれまでの無症状者や軽症者だけでなく中等症患者も自宅療養にするとの国の意向が出され論議を呼んでいます。

兵庫県では8月2日~31日まで国による「まん延防止等重点措置」が発表され、それにとまない神戸市でも飲食店の時短営業や酒類の提供禁止措置が実施されています。そういった緊迫した情勢ではありますが、6月28日本会議で、新型コロナ対策について質問しましたので、その際の当局とのやり取りや、中止されていたワクチン接種の再開などについて、市政報告書としてまとめましたので高覧の程お願い申し上げます。

6月28日 | 神戸市議会本会議一般質問で新型コロナウイルス対策についての質疑

1 自宅療養者や軽症者施設での医師による診察について

高橋としえ コロナ感染再拡大における急激な感染者数の発生により、入院調整に伴う自宅待機者(自宅療養者)、宿泊施設療養者が増加し、残念ながら死亡に至ったケースも増えている。現在、軽症者用の施設、宿泊施設には、看護師のみが常駐しているが、他都市のように医師が常駐し、容態の急変に速やかに対応している地域もあり、本市でも宿泊施設に医師を配置するとともに、自宅療養者への医療的支援についても十分な体制を整えるべきと考えるが、いかがお考えか。

恩田副市長 自宅待機者(自宅療養者)については、各区の保健センターによる健康観察を行っている。また市民病院、診療所等の医療機関による往診や電話診察というのを開始している。また必要に応じて保健センターからの酸素濃縮器の貸与、薬の処方といったことも行っている。このうち特に、中央市民病院では医療的処置が早急に重要とされる方に対して、医師、看護師、薬剤師の専門職で構成されたチームで往診し、ステロイド等の処方や酸素投与も行っている。次に宿泊療養施設では、症状が悪化した場合には医療機関の外来受診、病院への入院調整というのを行っている。また、行政医師による24時間オンコール体制に加え、入所者の状況に応じて原則毎日行政医師が宿泊療養施設に半日程度滞在し、入所者を診察している。そして、酸素濃縮器の配置、看護師による健康観察を支援するための緊急通報装置の整備、生体監視モニターの導入等を行っている。このような取り組みにより重症化を防ぐ仕組みを構築している。

宿泊療養施設における医師の体制については、御指摘のようにさらに強化できないのかについて、感染者の状況も踏まえながら、今後とも医師の確保に向けて検討させていただきます。

2 新型コロナ患者のための病床の確保について

高橋としえ 感染力が強く重症化しやすいとされるデルタ株の流行により、予断を許さない状況が続いている。これまで病床の確保については、(各病院への)戸別訪問により受入要請を局長自ら行っていると聞いており努力されていることは評価させていただいているが、第5波到来に備え、また重症者病床が急増する事態に備え重症者用病床の確保数を拡充するなど、万全の体制を整えておく必要があると考えるが、当局の見解を伺いたい。

恩田副市長 重症者患者の対応ということになると通常よりも手厚い看護体制が必要となり、受入病床の拡大、臨時病棟の増設等にはマンパワーの投入が必要となることから重症病床の増加には通常診療、救急医療の一部停止等、本来急性期病院が提供すべき医療の犠牲もともなう。そういったことを考えると、現在の新型コロナ重症者の病床数を維持するだけでも人材確保の面で大変厳しい状況にあり、これ以上の重症病床の確保を図るというのは、正直困難なところがある。国レベルで課題をしっかりと検討していただいて、応援体制も含めて対応していただくということが必要であると考え。ただ御指摘のように今後感染の再拡大の可能性は否定できず、クラスターの発生を防止する観点から、まずは感染症の神戸モデルにより、今年4月より保健師を増員し各区に保健師1名を配置して体制の強化を図っている。特にクラスターが発生した施設などを巡回しており感染症対策の助言・指導を強化しクラスターの発生を未然に防いでいくことに注力したい。

3 児童・生徒へのワクチン接種とコロナをめぐる学校内いじめについて

高橋としえ 今後、国の方針もあり12歳以上を含む児童・生徒へのワクチン接種の動きが出てくると思われるが、ワクチンを接種しない児童・生徒に対して、いじめや差別の発生が懸念されている。教職員へワクチン接種が任意であることを理解させるとともに、児童・生徒に対してワクチン非接種者への差別禁止に関する啓発の時間をしっかりと設けていただきたいと思う。教育委員会として、どういった対応を想定しているのかお聞きしたい。

長田教育長 12歳から15歳の方へのワクチン接種については、診療所や病院での個別接種を推奨するという本市の方針に関して6月24日に市長のほうから教育委員会に対し通知を出した。国からの通知としては、学校でのワクチンの接種は強制ではないこと、また周囲にワクチンの接種を強制してはいけないこと、身体的な理由や様々な理由によってワクチンを接種することができない人や接種を望まない人の判断は尊重されるべきであることなどについて児童・生徒に指導し保護者に対しても理解を求めることになっている。御指摘については、まずは教職員がよく理解をすることが必要でありまして、十分に周知をしていきたいと思っている。

一方で、児童・生徒に対する啓発の時間や学びの機会、これまでも新型コロナウイルスに関する不当な偏見や差別やいじめ等を防止するために小学校以上の全ての校種において児童・生徒が正しい知識を身につけることができるように学びの機会を設けてきた。しかし、実際には残念ながら、これまでこのコロナに関するいじめの報告がすでに幾つか学校現場のほうから上がってきている。今後は、ワクチンの接種に関することを含め、発達段階、学年に応じて学習を行うことで、不当な偏見や差別やいじめが起きることのないようにしっかりと努めてまいりたい。

4 神戸港での新型コロナ防止水際対策について

高橋としえ 今年1月に神戸に入港予定だった貨物船の乗船員のコロナ感染が発生し、神戸検疫所が用意した療養施設に隔離され水際対策の重要性が再認識された。韓国でも最近、釜山港でインドネシアの船員から新型コロナウイルスが感染拡大し釜山で広がるという新聞報道があった。

検疫の所管は厚生労働省であると承知している。しかし、神戸市のほうでもしっかりと国のほうに働きかけ神戸港から絶対に感染拡大が起きないように万全を期していただきたい。特に本市も参画する神戸港健康危機管理対策委員会における連携により海の検疫をさらに強化すべきと考えるが当局の見解をお伺いしたい。



本会議一般質問別席

油井副市長 現在、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大を防ぐために、外航の貨物船の乗組員が上陸することは基本的には認められていないが、1月の場合は乗組員の中で陽性者が発生したため、陽性者については、神戸検疫所が検疫所の療養施設に搬送し、陰性者については代理店が確保している出国のための待機ホテルに移動させた。

神戸港健康危機管理対策委員会については、神戸検疫所や大阪出入国在留管理局などの国の機関、神戸市の危機管理室や港湾局などの関係者等で構成されており神戸港における海外から侵入するおそれのある感染症の危機管理に対応することを目的として設置されているが、今後引き続きこの対策委員会の関係機関と緊密に連携し水際対策を強化したい。

01 60歳以上の方のワクチン接種再開について

神戸市では、国からのファイザー社製ワクチンの供給量が不足したことをうけてワクチン接種を一旦休止していましたが、関係団体と調整し、ファイザー社製ワクチンを使用する個別接種医療機関・集団接種会場共に7月26日(月)に予約受付を再開し、8月10日(火)より接種を実施されます。

大規模会場や、かかりつけ医・開業医に予約する方法

▶ **予約の際は、接種券をご用意のうえ、接種券番号(10桁)をご確認ください。**

予約方法は以下の4つの方法があります。診療所・病院によって方法が異なりますので、ご注意ください。

- ① かかりつけ患者さんを対象にして直接電話・来院などで予約
- ② かかりつけ患者さんに限らず直接電話などで予約
- ③ **かかりつけ患者さんに限らず市予約サイトおよびお助け隊による予約**
- ④ かかりつけ患者さんに限らず直接電話などで予約、市予約サイトおよびお助け隊による予約

オススメ!

オススメは③：かかりつけ患者さんに限らず市予約サイトおよびお助け隊による予約です。

パソコンに強い方はご自分でインターネットで予約してください。その際、西区の開業医はすぐに予約が満杯になるようですが、穴場はノエビアスタジアムのある兵庫区や複数の大規模会場がある中央区の開業医です。おそらく大規模会場で摂取される方が多いからなのか、開業医での予約が取りやすい状況が続いているようです。パソコンに不慣れな方は区役所等で、お助け隊(ボランティア)がインターネット予約を手伝ってくれます。

インターネット予約サイト ▶



注目!

40歳から59歳の方はノエビアスタジアムのみ予約再開(8月4日現在)

40歳(令和4年4月1日までに40歳の誕生日を迎える方を含む)から59歳の方は当面、大規模接種会場ノエビアスタジアム(兵庫区)のみの予約再開となります。個別接種医療機関(診療所・病院)やその他の集団接種会場での予約については、ワクチン配分量や予約受付状況を踏まえて、今後、順次予約受付を始める予定です。

配慮を要する方のワクチン接種会場の開設(8月4日現在)

知的障害者(療育手帳所持者)、精神障害者(精神障害者保健福祉手帳1級所持者)、認知症の方で個別・集団接種会場での接種が困難な方及びその介護者(家族等・最大2名)のワクチン接種会場が新設されました。使用ワクチンはファイザー社製となります。

接種会場・開設期間等

会場	【新設会場】	ニチイ学館研修棟
	神戸市医師会北部休日急病診療所	
住所	北区山田町下谷上池ノ内4-1	中央区港島南町7-1-5
開設期間	8月21日 土曜~9月末頃(予定)	8月1日~10月中旬(予定)



副反応に関する解熱剤服用に対する議論

接種後の副反応は、個人差が大きく、まったく何も起きない方と、発熱や筋肉痛等で苦しむ方に分かれます。モデルナ社ワクチンとファイザー社ワクチンの差はあまりないようです。副反応を気にされる方も多く、私もこれまでインフルエンザワクチンで苦しんだこともあり、事前準備を怠りませんでした。(すでに2回接種済み)私が調べたところでは、**アセトアミノフェン(別名カロナール)**という錠剤が、効き目

も穏やかで本ワクチンの副反応に適しているようです。すでにアセトアミノフェン(別名カロナール)の評判は高く、アセトアミノフェンの市販薬である**タイレノール**は**売り切れ**状態が続いています。一方、ロキソニンについては「免疫阻害作用があるのではないか」とか「せっかくワクチンをうっても抗体ができてくれないのではないか」という専門家の説もあるようです。結局、私は以前に医者よりもらっていたアセトアミノフェンを服用し、副反応はありませんでした。

アセトアミノフェンの市販薬
タイレノール ▶



02 まん延防止等重点地域

兵庫県がまん延防止重点措置の指定を受け、それにともない神戸市も8月2日から8月31日までまん延防止の規制を受けます。例えば飲食店に対して午後8時までの時短営業となり、さらに酒類提供は原則停止となります。また一般市民の方にも次のような自粛が求められます。

(1) 外出の自粛

夏休み期間中の人出の増加が感染拡大に繋がります。

- ◎東京や大阪等の感染拡大地域との往來の自粛。
- ◎日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛。
- ◎時短要請時間外での飲食店等の利用の自粛。

(2) 若い方々のリスクの高い行動の自粛

若い世代の感染が多く、30代以下が6割を占めています。

- ◎感染対策が徹底されていない飲食店等の利用の自粛。
- ◎路上・公園での飲酒、友人等による会食や宅飲み等の自粛。
- ◎部活動やサークル活動等の際には、熱中症に注意しながら、会話の際のマスクの着用、3密(密接・密閉・密集)の回避等感染対策の徹底。
- ◎体調異常の際の、登校控え(部活動の参加を含む)や出勤控え。
- ◎正確な情報のもとでの積極的なワクチン接種への参加。

緊急事態宣言とまん延防止の違い

緊急事態宣言	まん延防止
ステージ4相当	要件
都道府県単位	地域
時短と休業の命令・要請	飲食店対策
30万円以下の過料	命令違反の罰則
	ステージ3相当
	知事が市区町村を指定
	時短の命令・要請(休業要請はできない)
	20万円以下の過料

緊急事態宣言とまん延防止措置の違い

03 神戸医療産業都市の進展について

1 | 神戸大学光免疫療法治療センターの新設について

ポアイの中央市民病院北側には、神戸大学病院国際がん医療・研究センター（ICCRC）があります。この国際がん医療・研究センターは、4年前に設置され、国産の手術支援ロボットの導入等、がんに対する先進的外科的・内視鏡的治療の推進や次世代医療、新規医療機器の研究・開発の医工連携が進められています。本センターの病床数は全体で120床ですが、まだまだ病床の余裕はあるようです。この神戸大学病院国際がん医療・研究センターに今般、赤外線をあててがん細胞を選択的にたたく「光免疫療法」の治療・研究拠点となる光免疫療法治療センターが新設され、7月7日から毎週1回、光免疫療法の専門外来も設置されました。同療法の対象は、現時点では手術や放射線治療ができない頭頸部がん患者に限られていますが今後はその適用範囲を広げていき適用外となる場合でもほかの治療法を探るそうです。ICCRCの味木徹夫センター長は「症例を重ねることで治療の精度を高めた。原則は他院からの紹介患者に限るため、治療希望者は、通院している病院に相談してほしい」と話されています。



神戸大学国際がん医療研究センター

2 | 次世代医療開発センター（HBI）の開設について

次世代医療開発センター（HBI）は、神戸医療産業都市推進機構設立20周年と本庶佑（ほんじょたく）理事長のノーベル賞受賞を記念しポアイにあるクリエイティブラボ神戸内に今春設立されました。このセンターでは共同研究ラボ、共用機器室、高度な動物実験飼育施設等を備え、先端医療研究センターから①免疫機構研究部、②神経変性疾患研究部、③血液・腫瘍研究部、④感染症制御研究部の4つの部門からなり、分野の異なる研究者同士がリアルタイムで交流できる環境が整っています。HBIを中心として周辺エリアが活性化し、神戸医療産業都市が発展していくことを目指し、健康長寿社会に向けた神戸発の革新的な医療技術の社会実装を推進する計画となっています。



本庶佑理事長



次世代医療開発センター全景

04 こどもの通学時の安全確保、特にガードレールについて



常任委員会質疑

7月2日常任委員会で、こどもの通学時の安全確保について質問しました。……

◆高橋としえ

千葉県のと八街市で通学する児童・生徒が酒気帯び運転のトラックに巻き込まれた事故を踏まえ、西区でも、ガードレールの確保を強く要望する。費用面から非常に難しいというのは分かっているが、現在どのぐらいのガードレール設置要望があって、ウェイティングがそれくらいあるかも教えてほしい。

◆三島建設局長

ガードレールは、費用面から基本的にはカーブのところに付けている。もし直線のところまで新設すると非常に延長が長くなり莫大な費用がかかる。そんな中で、2012年亀岡での通学児童への巻き込み事故や2019年の大津の園児の列への衝突事故もあった。そして今回、八街市の酒気帯びのトラックの巻き込み事故が発生した。こういった事情のある中で道路管理者の道路構造物だけで全て対応できるのかという話もある。今後国からも指示が出てくるであろうし、教育委員会とも連携を始めてどうするかを検討していかねばならないと考えている。

05 ホームセンタースーパービバホームの概要

国道175号線の区役所の南側、佐川急便のさらに南側に、今秋オープンを目指してホームセンタースーパービバホームの新築工事が行われています。新しいホームセンターは街の活性化に貢献するのかという視点でいろいろと調べてみました。まず事前情報として入手しておりましたスーパーマーケットの入居は、「イオンフードスタイル」になりました。イオンフードスタイルという西区内には、西神中央プレテの旧ダイエーの店舗である「イオンフードスタイル西神中央店」や、学園都市のキャンパススクエアにある「イオンフードスタイル神戸学園店」があります。少し気になるのが近隣のマルナカ玉津店もイオン系列という点ですが、同じ系列でも競争させるのがイオンの特徴でもあります。次に、以前に近くにあったマクドナルドとココイチは、ともにビバホームには入居しないことになったそうです。また、新しくドトールコーヒーが自社経営で入居するようです。

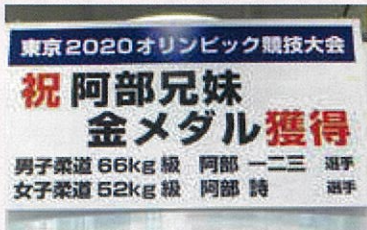
いずれにしても、近隣住民の皆様の利便性は向上することになり、また雇用がふえるというメリットもありそうです。西区役所の西神中央移転が近づいており、このホームセンタースーパービバホームが西区役所に代わって地域の活性化に貢献することを期待しております。



建築中のスーパービバホーム全景



スーパービバホーム新設説明会



神戸市役所内のお祝いの掲示版

コラム1 金メダリスト阿部一三、阿部詩兄妹に神戸栄誉賞授与が決定

神戸市は7月26日、東京五輪の男子柔道66キロ級で金メダルを獲得した阿部一三選手と、女子52キロ級で金メダルを獲得した阿部詩選手に「神戸栄誉賞」を贈ると発表しました。両選手は神戸市兵庫区出身の出身で、オリンピックで柔道史上初になる兄妹同日の金メダル獲得という快挙を達成されました。なお、あわせて兵庫県から誉(ほまれ)賞も授与されることが決まりました。

コラム2 西神南消防出張所の工事進捗状況

これまでの議員生活7年の中で最大注力してきたのが西神南地区の消防出張所の新設活動でした。なぜなら、西神南・学園都市・伊川谷の救急車出動が垂水消防署の管轄で、駆けつけ到着まで時間がかかっていたからです。実体験したのですが、西神南の室谷公園で開催されたグランドゴルフ大会で倒れられた高齢者の方が、救急車の駆けつけの時間がかかり、お亡くなりになったことがありました。切望した西神南消防出張所新設工事も終盤になり、今秋オープンの運びとなりました。



完成間近の西神南消防出張所全景



明石川の監視活動



神出の地すべり現場で職員の説明を受ける

コラム3 7月7日集中豪雨での明石川等監視活動

7月7日兵庫県に集中豪雨が襲い、県内河川の増水が危険水位まで上がりました。さっそく、明石川の増水状況を監視活動を行うとともに、神出地区で発生した地すべりの現場に急行しました。これから秋を迎え台風シーズンとなりますが防災減災活動には一層注力する所存です。

コラム4 飲食店支援感染症拡大防止協力金締切特例延長について

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金はすでに第1期～第4期の申請締め切りは過ぎていますが特例として8月31日まで延長されることになりました。よって、第1期～第4期までの協力金の申請を何らかの理由でできなかった飲食店の皆様は今回申請できることになりました。詳しい手続きについては兵庫県休業時短コールセンター(固定電話078-361-2501)にお問い合わせください。

期区分	要請期間	申請受付期間
第1期	1月12日～2月7日	今回の特例で、8月31日まで延長
第2期	2月8日～3月31日	今回の特例で、8月31日まで延長
第3期	4月1日～4月24日	今回の特例で、8月31日まで延長
第4期	4月25日～5月31日	今回の特例で、8月31日まで延長
第5期	6月1日～7月11日	7月12日～8月31日
第6期	7月12日～7月31日	要請期間終了後、受付開始予定

飲食店支援協力金の締切延長特例



元町の抗原抗体センター前景

コラム5 元町に抗原抗体センター新規開設

前号の市政報告書で、花隈に格安PCR検査センターが新設されてことをお伝えしていますが、今般新しくJR元町駅北側すぐのところ、「元町抗原抗体検査センター」が開設されました。

しかし、実際に自ら出向き抗原検査を受けた感想ですが、①抗原検査はPCR検査に比べて精度は低い ②原則、自分で咽頭から粘液をとらないといけない ③ウイルスの含有量を調べる検査のようなので、ウイルス量が多い場合は再度PCR検査を受ける必要がある等、使い勝手の面で、今一つのように感じました。実際に、自ら出向き抗原検査を受けた感想です。よって、個人的には花隈の格安PCR検査センターの方がよいように思いました。

コラム6 西神中央駅百貨店ビル(旧そごう西神店)について

西神中央駅百貨店ビル(旧そごう西神店)について、後継事業者公募により優先交渉権者として選定された双日株式会社は、4月4日の全館オープンに向け、2～5階の概要を発表しました。

- 1階：スーパーマーケット、スイーツ、お惣菜など(オープン済み)
- 2階：生活雑貨、服飾雑貨、ファッションアクセサリ、コスメなど
- 3階：ライフスタイル雑貨、家具など
- 4階：書籍、雑貨、カフェなど
- 5階：レストラン、カフェ、美容院、リラクゼーションなど

主な入居テナントや施設の具体名やイメージパースについては、9月末頃の公開に向けての準備を進めています。



西神中央駅百貨店ビルオープンイメージ

令和2年度決算特別委員会局別審査 企画調整局



議事録抜粋
令和3年9月9日

2. 企業誘致について

(1) 産業団地への企業誘致について

■質問: 外海開三

新型コロナウイルス感染症の影響によるリモートワークの増加のため、都心オフィスの需要は減ってきている一方、巣籠もり需要やネット通販の増加により物流用地は不足していると聞いております。今後の企業誘致のトレンドをどのように分析しているのか、おたずねいたします。

■答弁: 西尾企画調整局医療・新産業本部長

物流関係については引き続き強い引きがあります。既に産業団地に進出済みの事業者の方で拡張用地を取得したいというような申し出も具体的に出てきています。

一方、都心のオフィスに関しましては、縮小傾向が見られるところもあるのですが、コロナ禍で業績を伸ばしたIT企業からの引き合い、さらに、コストダウンを目的に大阪から神戸にという動きも見受けられます。

事業者の投資意向調査を継続的に実施する中で動向を見すえながら、今後の誘致につなげていきたい。

■質問: 外海開三

これまでは神戸市で様々な企業進出支援制度を整備して、順調に企業誘致推進してきたわけですが、産業団地についてはほぼ売却が完了しており、新たな産業団地の計画も進んでいます。

今後の企業誘致に当たっては、需要が厳しい都心オフィスの誘致は補助メニューを強化する一方、需要が見込める産業団地については支援制度を縮小し、強気の誘致をするなど、効果が最大限になるよう取り組むべきと考えますが、見解はいかがでしょうか。

■答弁: 西尾企画調整局医療・新産業本部長

産業団地の税制優遇につきましては見直しを図っています。一方、オフィスビルの賃料補助制度につきましては、三宮周辺の都心機能誘導地区に対するIT関連企業に対しまして、従前補助率を4分の1から2分の1に拡大しています。トレンドに即した制度の弾力的な見直しを行い、需給バランス等を見ながら、柔軟に対応していきたい。

(2) 外資系企業の誘致促進について

■質問: 外海開三

近年、著名な外資系企業が神戸に進出してきたという印象はなく、ポテンシャルを生かして大きな成果を上げられるよう取り組んでほしいと考える。

昨年度ドイツに欧州オフィスを新たに設置し、これまで海外事務所がなかった欧州地域の企業誘致を本格化する取り組みだと思いが、取り組み状況はどうなっているのか。

■答弁: 垣内企画調整局新産業部長

本市には開港以来培ってきた外国人学校などの社会的基盤があり、これが企業誘致をするに当たった優位性となっています。

現在市内では、外国・外資系企業の本社75社が立地しており、政令市では、横浜、大阪に次いで3番目の多さです。近年では、マッキンゼー・アンド・カンパニーの世界で3か所目の研修施設が新神戸に誘致できました。従来は東京を選ぶ傾向があった欧州企業に神戸のポテンシャルを知っていただき、誘致を働きかけたい。

令和2年度神戸市各会計決算及び関連議案について

令和3年9月28日

日本維新の会神戸市会議員団の意見表明を行い、要望を付して決算を認定し、関連議案を承認いたしました。

厳しい決算ではありますが、24年連続でプライマリーバランスの黒字を確保したことは評価いたします。しかし、感染症対策等のため財政調整基金を約33億円取り崩し、残高は約30%減少しました。また、今年度以降もより一層厳しい財政状況が予測されます。新しいテクノロジーを柔軟に取り入れ、官民連携による行財政改革を着実に推し進めながら、市民サービスを向上させることを期待し、令和2年度神戸市各会計決算を認定、関連議案を承認いたします。

要望

- 行財政改革方針2025の目標完遂と進捗状況を踏まえ、更なる高い目標を設定するなど徹底した行財政改革の推進を実施すること。
- 全庁でのICTを活用した業務改革や、DX推進による市民サービスの向上、また役所の組織風土の変革を、スピード感を持って着実に進めていくこと。
- 公共施設を適切かつ効率的に維持管理・マネジメントするため、機能と必要性を十分に分析し、安全性と利便性の調和を考慮した複合化・多機能化を進めていくこと。
- 新型コロナウイルス感染者の自宅・宿泊療養の増加に伴い、往診医師の不足が懸念されることから、抗体カクテル療法の自宅投与を検討すると共に、ファストドクターのような事業者や医師を公募し、オンライン診療の普及推進や医師の確保に努めること。
- 新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む人のケアとして、相談体制を拡充し症状の分析を行い、各医療機関との連携を強化しながら、治療方法や診療体制の構築を進めること。
- コロナ禍において打撃を受けた市内中小企業者に対して、県市協調の上、雇用の維持と事業継続を下支えするきめ細やかな支援策を実施し、神戸経済の回復に取り組むこと。
- 学級閉鎖・学校休業・感染不安等で登校できなかつた児童生徒等に対して、学びの保障の観点から授業のライブ配信と共に、双方向授業を円滑に行うことができるような様々な学習方法を適切に組み合わせ、全学校で早期に構築すること。またオンラインによる面談や学習支援など、学校現場に合った柔軟な対応を可能な限り行うこと。
- こども家庭局と福祉局で行っている生活困窮者への学習支援については、一元化するなど連携しながら、更なる拡充を検討すること。
- 中学校給食の全食喫食制への移行に向けた基本方針による給食センター整備については、PFI方式を取り入れるなど民間活力を活用しながら、できる限り早期かつ効率的に進めること。
- 自粛生活長期化による高齢者の活動低下において、フレイル予防のため、KOBESニア元気ポイント制度の柔軟なポイント加算による社会参画の機会を促すなど、健康長寿の施策を充実させること。
- 神戸市看護大学においては、優秀な学生の獲得のため、選ばれる大学、魅力ある大学になるよう学生募集力・大学ブランド力の強化に努めること。また官民連携による市内就職率向上の取り組みを推進すること。
- 危機的な経営環境・財務状況である交通局は、人件費削減のため、効率的な勤務体系を構築し、人材の流動化を含めた組織風土改革に取り組みながら、顧客満足度の向上ならびに収支改善に努めること。
- 三宮再整備については、感染症や自然災害への安全・安心を考慮したハード整備を産学官一体で行うこと。また洗練された都心・三宮の都市ブランド向上に向けた戦略的な取り組みを進めること。

日本維新の会神戸市会議員団市政報告

編集・発行 日本維新の会神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 https://kobe-ishin.jp/
info@kobe-ishin.jp

日本維新の会神戸市会議員団 団長

神戸市会議員

そとみ かいぞう 東灘区選出

外海開三

令和2年度決算特別委員会局別審査



特集 外海開三の神戸市会での活動を知っていただくため、中面に決算特別委員会での質疑を掲載しました。ぜひ、ご一読ください。▶▶▶

今秋の神戸市長選挙から「神戸ファッション美術館」に 六甲アイランド期日前投票所の増設が決定しました。



今秋執行予定の神戸市長選挙から、六甲アイランドに期日前投票所の増設が決定いたしました。これまで六甲アイランドにお住まいの多くの方々から期日前投票所設置要望をいただけてまいりました。私は、4年前から一般質問や総括質疑などで数回にわたり設置を訴えてまいりましたが、ついに実現となりました！

神戸市長選挙が予定通り10月10日告示～同月24日投票であれば、21日～23日の13～17時の間、神戸ファッション美術館4階にて投票いただく事ができるようになりました。

ました。これにより、東灘区内の期日前投票所は、東灘区役所と神戸ファッション美術館の2箇所となります。ぜひご利用ください。

●背景と目的: 期日前投票の利用者が増加傾向にあり、投票者の利便性の向上を図ることに加え、新型コロナウイルス感染症防止対策として混雑を回避するため。

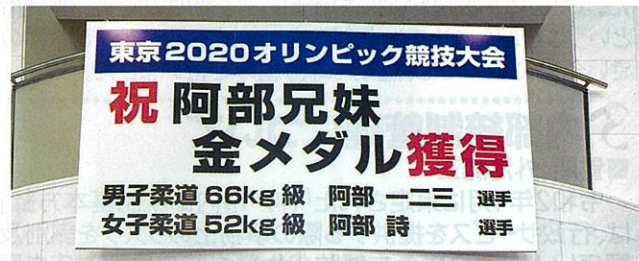
●場所: 神戸ファッション美術館4階第1セミナー室
・日程/令和3年10月21日(木)～10月23日(土)3日間
・時間/午後1時～午後5時

●なお、東灘区役所での期日前投票は、今までどおり、下記の日程でご利用いただくことができます。

・日程/令和3年10月11日(月)～10月23日(土)
・時間/午前8時30分～午後8時00分

阿部一二三選手・阿部詩選手へ「神戸栄誉賞」贈呈決定

令和3年7月26日



神戸市役所1号館入口に設置されている横断幕

東京2020オリンピック競技大会において、神戸市兵庫区出身の阿部一二三選手(柔道男子66kg級)、阿部詩選手(柔道女子52kg級)が、ともにオリンピック初出場でありながら、オリンピック柔道史上初の兄妹での同日金メダル獲得という快挙を達成されました。お二人の栄誉をたたえるため、「神戸栄誉賞」を贈呈することが決定しました。贈呈式の日程は調整中です。

■参考:「神戸栄誉賞」とは、神戸市在住又は在勤等の方で、オリンピック競技大会又はパラリンピック競技大会において3位以上の成績を残したアスリートを表彰する制度です。これまでに20名を表彰しています。

過去の主な受賞者

- ・シドニー大会(平成12年)・・・篠原信一選手(柔道)
- ・北京大会(平成20年)・・・朝原宣治選手(陸上)
- ・ロンドン大会(平成24年)・・・澤 穂希選手他(女子サッカー)

市会議員の交通費の費用弁償実費支給が実現 条例改正案提出へ

令和3年9月6日

令和3年2月26日に私ども維新会派が「議会費削減(案)」を代表者会議で提案したことにより、議会費見直し等に係る検討会が設置されました。

削減(案)は①費用弁償を廃止し実費支給②令和3年度視察旅費削減③政務活動費の1年間20%削減④議員報酬の1年間10%削減の4項目からなります。そして、削減により捻出される約1億6千万円を医療従事者等への支援策に充てることに賛同を求める趣旨です。

検討会で協議を行った結果、これまで本会議や委員会に出席した際に、交通費や諸費用として居住地に応じて月額3000～5000円が支払われていた費用弁償を実費精算に変更する改正条例案が9月6日に上程され全会一致で可決しました。費用弁償の実費支給は実現いたしました。他の3項目については残念ながら全会派一致とならず実現には至りませんでした。

日夜最前線に対応していただいている医療従事者等の皆様には心より感謝を申し上げます。



令和2年度 決算特別委員会

局別審査を 行いました



選挙管理委員会

令和3年9月8日(水)

■質問:外海開三

本年は兵庫県知事選挙・神戸市長選挙、そして衆議院選挙と3つの大きな選挙が執行される。有権者の政治・選挙に対する関心を高める啓発事業や、投票率向上へどのような取り組みを行なったか。

■答弁:廣瀬選挙管理委員会事務局長

兵庫県知事選挙で新たに期日前投票を2か所(中央区のこうべまちづくり会館/長田区文化センター)増設しました。利便性の高い施設でもあり効果があった。また、コロナの影響で対面での街頭啓発は縮小せざるを得なかったが、若者の提案により、選挙ごとにデザインの違うオリジナルステッカーを、投票後、希望者に配布するという取り組みを新たに行いました。

投票率の向上は難しく、今回の県知事選も当日投票は41.61%で、2.02ポイントの増にとどまった。引き続き投票しやすい環境の整備、若者向けにインターネットメディアなども使い周知・啓発に取り組んでまいります。

■質問:外海開三

私はこれまで数回にわたり、六甲アイランドに是非とも期日前投票所を増設していただきたいと要望してまいりました。進捗がありましたら、お答えください。

■答弁:廣瀬選挙管理委員会事務局長

外海委員からずっと御要望いただいております東灘区につきましては、**神戸市長選挙から、六甲アイランド内で期日前投票所を増設する予定**で進めています。

POINT

会計室・市長室・行財政局

令和3年9月8日(水)

1. 今後の財政運営について

■質問:外海開三

令和2年度一般会計決算は、新型コロナウイルスの影響で、10年ぶりに特例債の発行や財政調整基金取崩などの財源対策を行うことで、実質収支3億円を黒字化している。また、緊急議会の開催や市長による専決処分など、例年にならぬ予算編成が行われたが、1年を振り返り、予算編成作業における課題や反省点をどのように評価するのか。

■答弁:岩崎行財政局長

補正6回、専決1回、その他予備費の執行等、新型コロナウイルス感染症に、年中対応していたという状況です。

財源の捻出は取り急ぎ、財政調整基金、予備費等の活用、既存事業の組替え、そういった工夫ができたが、今後の予測、

企業の実態把握、こういったものは非常に難しかった。

■質問:外海開三

新たな施策を展開するための財源確保が課題であり、徹底した行財政改革を実施すべきと考える。「行財政改革方針2025」を策定しており、目標の完遂と、進捗状況を踏まえ、更なる高い目標の設定など、徹底した行財政改革の推進を実施すべきと考えるが、見解をうかがいたい。

■答弁:岩崎行財政局長

今後、状況に応じて目標設定を見直していかなければならないと思っています。財政の健全性を保ちつつ、将来にわたって持続的な発展を遂げるために、徹底した行財政改革を進めていきたい。

■質問:外海開三

震災後枯渇した財政調整基金を、約120億円まで確保してきたが、新型コロナウイルス対策により、令和2年度末で83億円、更に9月補正予算案を含めると72億円まで減少することになる。有事の際に市民や事業者支援のために活用できる貴重な財源であるため、厳しい財政状況下でも着実に必要額を積み立てていくべきと考える。見解をうかがいたい。

■答弁:森川行財政局副局長

当初予算において計画的に積み立てるということはなかなか難しい。税収が好転した分とか、決算において利益が出たら、その分を積み立てていくように頑張っていきたい。

2. 債権管理対策について

■質問:外海開三

令和2年度は対策本部設置後初めて、前年度の未収入金13億円上回る結果となったが、債権ごとに策定した令和2年度までの目標は達成されたのか。また、コロナ禍において、困っている市民の方への対応など、どのような取り組みを実施したのか。

■答弁:野崎行財政局税務部長

市税においては巨額の徴収猶予を行ったということ。あと、国民健康保険料等の社会保険料につきましては、国において制度化された減免制度があり、これを適用させていただきました。また、上下水道料金につきましては納期の延期、延長措置というのを取らせていただいた。市民生活にとって影響の大きい分野については、適切な取り組みを行いました。

3. 内部統制管理について

■質問:外海開三

令和2年4月に策定された「神戸市内部統制基本方針」では、行政サービスを提供する際の事務上のリスクを識別及び評価し、リスク発生の未然防止や発生時の早期対応を図る仕組みを構築することとしている。本議会に提出された評価報告書は、不備案件も多く散見され、内部統制に対する職員の意識不足も感じられた。報告初年度に感じた課題や来年度以降の改善点など、どのように考えるか。

■答弁:久安行財政局副局長

業務レベルでの内部統制に関する事項について、466件の不備が確認されたため、引き続き対応策の整備及び運用に取組み、再発防止に努めてまいりたいと考えております。

また、学校園や保育所については、職員の多忙化を理由に令和2年度のリスク評価の実施を保留としておりましたけれども、所管局と協議を行いながら実施手法を工夫するなど、必要な対応をしております。

4. 国際交流の推進について

■質問:外海開三

海外へのシティプロモーションの推進取り組みとして、コウベ・インターナショナル・クラブの活用や海外ビジネスコーディネーターを東南アジアと欧州に配置している。コロナ禍で海外との往来が制限されている現状において、神戸の魅力を現地で直接発信できる取り組みとして期待している。現在の取り組みと今後の展開について、見解をうかがいたい。

■答弁:大畑市長室長

コウベ・インターナショナル・クラブのホーチミン支部では、神戸の洋菓子文化をオンラインで現地でPRし、ビジネスコーディネーターにおきまして、シンガポール企業とオンラインでの商談など、それぞれ工夫をいただいているというのが現状です。

現地にあるネットワーク、人脈を生かしつつ、効果的なプロモーションに引き続き取り組んでまいります。

■質問:外海開三

新型コロナウイルス感染症の影響からアルバイトも出来ず、生活困窮に陥った市内留学生のために、有償ボランティア事業などを実施している。状況を継続して把握し、必要な支援策をさらに展開すべきと考えるが、見解をうかがいたい。

■答弁:檀特市長室国際部長

アルバイト需要が減少しており、外国人留学生など生活困窮者への支援事業を実施する市内の団体への助成を今年度も継続して行っています。今後も必要な支援を講じていきたい。

■質問:外海開三

2016年度より、「KOBE PR アンバサダー事業」を行っており、市内在住・在学・在勤の外国人を1年間大使として任命し、神戸の魅力やまちの情報を国内外に発信している。現在、海外との往来の規制や外出自粛など、これまでと違う環境下であるが、どのような取り組みを行っているのか。

■答弁:多名部市長室広報戦略部長兼広報官

今年度は昨年より9名増加して、23の国と地域から計52名任命。英語や母国語によりSNSで神戸の魅力を発信していただいています。今年4月から8月の投稿数は月平均約400件で、これは昨年の1.5倍増です。52名の方のフォロワーを合計すると15万人おり、コロナ禍で往来ができない状況でも、神戸の状況を発信できていると思っています。今後、その発信のネタになる体験型のイベントを開催したいと思っています。

企画調整局

令和3年9月9日(木)

1. ICT等を活用した働き方改革の成果について

(1) テレワーク等の普及促進について

■質問:外海開三

リモートワークが全国的に広がっています。神戸市でも在宅勤務が飛躍的に増加していると聞いております。せっかく利

インターネットで
本会議・委員会の動画配信中

神戸市会

検索



用が進んできた在宅勤務が後退することがないように、引き続き普及促進していただきたい。見解をうかがう。

■答弁:筒井企画調整局DX担当局長

職員からは、集中して業務を行うことができた、通勤時間の節約が業務に活用できた、ワーク・ライフ・バランスが向上した等の声が上がっています。一方、課題といたしましては、職場とのコミュニケーションが取りにくいという点があげられ、ビジネスチャットやウェブ会議等のコミュニケーションツールを導入して対応しています。今後もこの流れが後退することのないよう、行財政局とも連携して取り組みたい。

■質問:外海開三

在宅勤務以外にも、庁内電話のモバイル化、そしてフリーアドレスオフィスの推進等の取り組みが他都市と比較して進んでいるのか。また、民間企業やほかの自治体に負けない職場環境をつくり上げていただきたいと思うが、見解をうかがう。

■答弁:森企画調整局デジタル戦略部長

庁内電話のモバイル化は、令和3年度から本庁1号館を対象に運用開始しました。今のところは他の政令指定都市で本格的に導入したという事例はありません。これにより、フリーアドレスが非常にやりやすくなりました。さらに、柔軟なワークスタイルが実現、配線の無線化、電話交換機のクラウド化、そして、保守・運用コストが低減されました。

また、今年の7月にワクチンの供給不足で予約キャンセルの連絡センターを急遽立ち上げなければいけなくなったときにも、モバイル化をしていたがゆえに、迅速に電話を用意して市民の方に早く連絡することができたといった効果もありました。

自治体レベルとしては恐らく導入は進んでいるほうであると認識しております。

(2) 行政事務センターの活用について

■質問:外海開三

企画調整局が所管している行政事務センターでは、市役所内の様々な申請事務やコールセンターの集約を行っているが、どの程度効果を上げられているのか。また、今後行政事務センターを拡充し、取扱業務をさらに増やしていくべきと考えますが、見解をうかがう。

■答弁:森企画調整局デジタル戦略部長

敬老優待乗車証の新規発行、更新、保育所の利用認定、学童保育の利用申込み、児童手当の現況届など、全64手続をセンターで処理しています。

例えば児童手当の現況届に関しては、市民の方の待ち時間の減少あるいは職員の今までの時間外勤務も30%削減につながったと、こども家庭局から報告を受けています。

委託化に当たりましては効率化を進め、費用対効果をさらに上げていくことが可能であると考えています。

神戸市会議員 日本維新の会神戸市会議員団 団長 そとみかいぞう

外海開三

KOBE ISHIN JOURNAL

新しい力が未来を開く!!

福祉●教育●子育て 現役世代に集中投資!!

議事録抜粋

紙面の都合上、一部質問を掲載し、他は質問項目のみとさせていただきます。



決算特別委員会で局別審査を行いました

都市局 令和3年9月13日(月)

1. 都心・三宮の再整備について
 2. 郊外の地元ニーズを踏まえたまちづくり
- 質問：黒田武志/整備が進められている西神中央ホールは、施設利用者に配慮して、動線の整備等を進める必要があります。昨年10月の本会議で西神中央駅西側ロータリー拡張をお願いしたが、どのように対応をお考えなのか。
- 答弁：小島新都市事業担当部長/駅からデッキレベルの2階にアクセスする動線を整備し、西神中央駅の改札を出てすぐ西側に1階と2階をつなぐエレベーターとエスカレーターを新たに整備する予定です。

市会議員の交通費の費用弁償 実費支給が実現条例改正案提出へ

削減により捻出される約1億6千万円を医療従事者等への支援策に充てることに賛同を求める趣旨の「議会費削減(案)」を維新会派が代表者会議で提案したことにより、議会費見直し等に係る検討会が設置されました。

そして、検討会で協議を行った結果、交通費や諸費用として居住地に応じて月額3000～5000円が支払われていた費用弁償を実費精算に変更する改正条例案が全会一致で可決しました。

日夜最前線に対応していただいている医療従事者等の皆様には、心より感謝を申し上げます。

令和2年度神戸市各会計決算及び関連議案について 日本維新の会神戸市会議員団の意見表明を行い、要望を付して決算を認定し、関連議案を承認いたしました。

厳しい決算ではありますが、24年連続でプライマリーバランスの黒字を確保したことは評価いたします。しかし、感染症対策等のため財政調整基金を約33億円取り崩し、残高は約30%減少しました。また、今年度以降もより一層厳しい財政状況が予測されます。新しいテクノロジーを柔軟に取り入れ、官民連携による行財政改革を着実に推し進めながら、市民サービスを向上させることを期待し、令和2年度神戸市各会計決算を認定、関連議案を承認いたします。

要望

- 行財政改革方針2025の目標達成と進捗状況を踏まえ、更なる高い目標を設定するなど徹底した行財政改革の推進を実施すること。
- 全庁でのICTを活用した業務改革や、DX推進による市民サービスの向上、また役所の組織風土の変革を、スピード感を持って着実に進めていくこと。
- 公共施設を適切かつ効率的に維持管理・マネジメントするため、機能と必要性を十分に分析し、安全性と利便性の調和を考慮した複合化・多機能化を進めていくこと。
- 新型コロナウイルス感染症の自宅・宿泊療養の増加に伴い、往診医師の不足が懸念されることから、抗体カクテル療法の自宅投与を検討すると共に、ファストドクターのような事業者や医師を公募し、オンライン診療の普及推進や医師の確保に努めること。
- 新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む人のケアとして、相談体制を拡充し症状の分析を行い、各医療機関との連携を強化しながら、治療方法や診療体制の構築を進めること。
- コロナ禍において打撃を受けた市内中小企業者に対して、県市協働の上、雇用の維持と事業継続を下支えするきめ細やかな支援策を実施し、神戸経済の回復に取り組むこと。
- 学級閉鎖・学校休業・感染不安等で登校園できなかつた児童生徒等に対して、学びの保障の観点から授業のライブ配信と共に、双方向授業を円滑に行うことができるような学習方法を適切に組み合わせ、全学校で早期に構築すること。またオンラインによる面談や学習支援など、学校現場に合った柔軟な対応を可能な限り行うこと。
- こども家庭局と福祉局で行っている生活困窮者への学習支援については、一元化するなど連携しながら、更なる拡充を検討すること。
- 中学校給食の全員喫食制への移行に向けた基本方針による給食センター整備については、PFI方式を取り入れるなど民間活力を活用しながら、できる限り早期かつ効率的に進めること。
- 自粛生活長期化による高齢者の活動低下において、フレイル予防のため、KOBESニア元気ポイント制度の柔軟なポイント加算による社会参画の機会を促すなど、健康長寿の施策を充実させること。
- 神戸市看護大学においては、優秀な学生の獲得のため、選ばれる大学、魅力ある大学になるよう学生募集力・大学ブランド力の強化に努めること。また官民連携による市内就職率向上の取り組みを推進すること。
- 危機的な経営環境・財務状況である交通局は、人件費削減のため、効率的な勤務体系を構築し、人材の流動化を含めた組織風土改革に取り組むながら、顧客満足度の向上ならびに収支改善に努めること。
- 三宮再整備については、感染症や自然災害への安全・安心を考慮したハード整備を産学官一体となり行うこと。また洗練された都心・三宮の都市ブランド向上に向けた戦略的な取り組みを進めること。

3. 新神戸駅前広場の再整備について 4. ポートアイランドの活性化について

交通局 令和3年9月16日(木)

1. 効率的な勤務体系について
 2. 市バス営業所長のマネジメントについて
 3. 顧客満足度の向上について
 4. 酒気帯び運転について
- 質問：黒田武志/我が会派から指摘を行なった結果、地下鉄の乗務員における勤務時間の見直しが行われ、約1億2,000万円の削減効果があったが、市バス運転士や地下鉄駅務職員と、ほかの所属へ波及させることによって、さらなる勤務時間の効率化を進めるべき。
- 答弁：城南交通局長/今後も引き続き、職員、車両の稼働率アップによる生産性向上に一層努力してまいります。
- 質問：黒田武志/コロナ禍における大幅な赤字の中、組織風土改革に取り組むべきと考えます。
- 答弁：城南交通局長/人材育成の観点からも、将来を担う若い運転士の方の異動を行い、キャリアプランであったり、仕組みづくりを検討し、組織風土の改革に取り組んでまいります。

令和3年9月6日

市会議員の交通費の費用弁償 実費支給が実現条例改正案提出へ

削減により捻出される約1億6千万円を医療従事者等への支援策に充てることに賛同を求める趣旨の「議会費削減(案)」を維新会派が代表者会議で提案したことにより、議会費見直し等に係る検討会が設置されました。

日夜最前線に対応していただいている医療従事者等の皆様には、心より感謝を申し上げます。

日本維新の会神戸市会議員団市政報告

編集・発行 日本維新の会神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 https://kobe-ishin.jp/

神戸市会議員 黒田武志 西区選出

令和3年第2回定例会市会[9月議会]において、日本維新の会神戸市会議員団を代表し、令和2年度決算の中から、「新型コロナウイルス感染症対策」などについて質問いたしました。議事録抜粋を中面に掲載しました。ご覧ください▶▶



黒田武志の取り組み 西区の問題点を市政に伝えるため、発言を続けています。

3つの願いが実現へ。西神地区の問題で、大きな成果を上げることができました。

1 西神中央駅前一般車用ロータリーを拡張

建設局とも意見交換を重ね、昨年10月本会議で、狭い現状を質疑の上、拡張を要望しました。油井副市長から、『利用状況も調査した上で、より使いやすいロータリーとなるよう拡張を検討』と、答弁をいただいておりますが、この度、一般車用ロータリー拡張が実現する見通しとなりました。

令和2年10月28日 本会議で、西神中央駅前一般車用ロータリーの拡張を要望

現状

2 西神中央駅前バスロータリーの時刻表や案内板を新しく

老朽化が進む時刻表・案内板。路線図の位置が高く、文字も小さい。高齢者の方などは非常に見にくく不便を感じています。

黒田武志 老朽化が進んでいる。気持ちよく駅やバス停を利用できるよう、改善を図るべき。

児玉交通局副局长 分かりやすく、見やすいものを作り、さらには、リノベーションされた周辺とも調和できるものを考えてまいります。

現状

3 西神南センタービルの駐車場を改善

下記の整備により、状況改善を図ることになりました。

- 駐車場の駐車区画の配置換え。
- 植栽帯の一部撤去により、車両の通路幅を一定確保。
- ビル入り口前には、5分程度の停車を可能とする荷さばき・乗降エリア、また10分程度の駐車可能とする搬入・搬出車両エリアを新たに設ける。
- 利用者の動線が交錯をしないようにするため、搬入、送迎、隣接のコンビニ、また歩行者通路等の路面標示を行う。
- 送迎の時間的目安や時間貸駐車場への誘導を記載した案内看板を設置をする。
- 22時もしくは22時半まで勤務する警備員を増員し、駐車場の誘導にあたる。

西神南センタービル駐車場

送迎の方へ

送迎は乗降エリアにて5分以内でお願いします。5分を超過する場合は西側の時間貸(15分無料)をご利用下さい。

ビル管理者

※調整のため、実施まで時間を要する場合がございます。



神戸市会
令和3年第2回定例会

本会議で 代表質問を行いました。

令和3年9月6日

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

■質問: 黒田武志

市内のコロナ対応病床の割合は依然低く、一部の病院に負荷がかかっているのではないかと懸念しています。感染症への対応力を強化し、重症者と死亡者を増やさないためには、単に病床数を増やすだけではなく、神戸市と医師会、市民病院機構、中小規模を含む全ての民間病院、宿泊療養施設の役割分担を明確にした上で連携することが重要であると考えますが、御見解をお伺いします。

■答弁: 久元喜造市長

市内医療機関におきましては、役割分担を明確にして協力をお願いし、取り組んでいるところです。状況が変化することもあり得ると思いますので、またそれらに対応した、適切な役割分担、連携の強化について検討をしていきたい。

■質問: 黒田武志

問題は、人口当たりの日本の感染者数は世界各国のそれと比べて少ないのに、なぜ日本の医療が逼迫する状態になっているかということです。市内一般病床数1万2,363床に対し、コロナ受入れ病床数は321床。約2.6%です。まだまだ少ないと思います。今後も拡大していただきたい。

兵庫県では、齋藤知事が就任し、コロナ受入れ病床や宿泊療養施設の確保を初め、新型コロナウイルス感染症への対応を強化されている。県と市の間においても、医療体制の役割分担を明確にした上で、さらに連携・協力を深めていくことが重要であると考えます。見解をお伺いします。

■答弁: 小原一徳副市長

病床計画の策定や状況の把握、また県内各市町等との広域の連携、これは兵庫県の役割として対応いただき、神戸市内の具体的な病院との調整、受入れ依頼等につきましては神戸市が実施するという形を基本とした役割分担としています。引き続き兵庫県との連携を強化し、患者の重症化を防止していきたい。

■質問: 黒田武志

治療の最前線に立つ医療従事者の疲弊、離職も問題となっています。医療体制を維持し、今後の危機に備えるためにも、中長期的な視野で人材の育成に力を入れ、重症患

者にも対応できる高度な人材を確保していく必要があると考えますが、御見解を伺います。

■答弁: 小原一徳副市長

集中治療の看護師育成には時間を要します。既存の経験値の高いスタッフから短期集中で育成し、臨時病棟に配置しています。コロナ禍の中で育成した人材を中心に、今後の危機に備えるための人材育成にも取り組みたい。

■質問: 黒田武志

今後、若い世代へのワクチン接種が感染拡大抑制の鍵になると考えます。例えば、ワクチンを接種した若い世代へ何かしらのインセンティブ(奨励策)を実施するなど、ワクチン接種の促進を図ることも検討していただきたいと考えますが、御見解を伺います。

■答弁: 小原一徳副市長

市民1人1人が接種の目的や効果、安全性を十分に御理解いただいた上で御自身の判断で受けていただきたい。SNSなど若年層を意識した発信方法を積極的に取り入れながら、できるだけ多くの方に接種を受けていただくよう取り組んでいきたい。

後日談

いち早く、兵庫県がインセンティブを実施し、楽天グループ・神戸市の産学官連携による若年層への接種促進の取組みが始まりました。接種は任意ですが、一日も早いコロナ禍からの脱却、経済復興に向けてぜひ活用いただければと思います。

2. 王子動物園について

■質問: 黒田武志

市民はもちろん、市外からの観光客を呼び込み、王子公園エリアの活性化に資する魅力ある動物園にするためには、今までどおり直営で運営するのではなく、Park-PFIなどの民間の力を活用すべきと考えますが、見解を伺います。

■答弁: 油井洋明副市長

都市型動物園のポテンシャルを最大限に生かし、何度でも行ってみたい、行ってよかったと思われる魅力ある動物園に再整備していきたい。

公立動物園の運営形態については、直営、また指定管理、独立行政法人など様々であり、それぞれにメリット・デメリットがあると認識しています。また、運営の形態の検討には、Park-PFIも含め、民間活力の導入についても研究していく必要があると認識しています。他都市の状況、運営上の課題等、最適な運営方法について検討してまいります。

■要望: 黒田武志

リニューアルされた場合においても、のびのびパスポートの利用対象や小・中学生など、多様な市民が利用しやすい環境を維持する配慮は続けていただきたい。



王子動物園

3. 公共施設の維持管理について

■質問: 黒田武志

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う生活変容や社会保障費の増加、人口減少、一層厳しくなる財政状況、公共施設の機能と必要性を十分に分析し、複合化・多機能化する必要があると考えます。公共施設の適切な維持管理、マネジメントが重要で、施設の包括管理や安全性と利便性の調和を考慮した総量の削減なども必要と考えますが、御見解を伺います。

■答弁: 今西正男副市長

人口の増減、時代の変化や市民ニーズの変化、経過年数や劣化状況、今後の維持管理コスト、周辺施設や同種の施設の状態について検討する必要があると考えている。

全体の施設容量を踏まえたアプローチと、個々の施設の利用実態等を考慮したアプローチとを勘案しながら、公共施設の適正な管理運営に努めてまいります。

4. 外郭団体について

■質問: 黒田武志

先日、外郭団体の在り方について、団体の廃止・統合や業務の縮小など、抜本的な見直しを進める方針が公表されました。外郭団体の抜本的な見直しを指摘してきた我が会派としては、高く評価しています。神戸新交通株式会社や神戸ハーバーランド株式会社など、資産を管理運用している団体はほかにもあります。これらの資産の管理運用を集約化し、有効活用するなど、さらなる見直しを進めていくことが必要であると考えますが、見解を伺います。

■答弁: 久元喜造市長

御指摘の資産管理につきましては、それぞれの外郭団体の目的に応じて必要な資産を保有するという事は必要なことであろうかと思いますが、より有効に資産を活用し、運用する方法が考えられないか検討していきたい。

外郭団体マネジメント推進本部におきまして、外郭団体個別のミッションを明確にし、そのミッションに基づいて適切に業務を遂行できるかを評価検証することを通じて、あらゆる観点から見直しを行ってまいります。

■要望: 黒田武志

外郭団体の役員などは、市の職員が多く派遣されており、行政的な視点が強い組織になっている。来春、OMこうべと、すまいまちづくり公社が統合されるに当たって、役員に新たな人選を選任する場合には、経理や法律の専門家とは異なる団体の事業を担う専門的な知識や実績を有する最適な民間人材の登用をお願いいたします。

5. 中学校給食の全員喫食制について

■質問: 黒田武志

全員喫食制に対する市民の期待は大きく、早期の実現に向けて取り組むことが重要です。今後、具体的にどのように取り組んでいくのか、また給食センター整備に当たっては、例えば、PFI方式を取り入れるなど、できる限り早期かつ効

率的に進めるべきと考えますが、御見解を伺います。

■答弁: 長田 淳教育長

このたびお示しさせていただいた基本方針案のとおり、実現可能性や費用対効果、効率性等の観点から踏まえ、民間デリバリー方式と給食センター方式を組み合わせることを基本として、必要な調理体制を確保したいと考えています。また、親子調理方式の実施を補完的に検討したい。

給食センターについては、市内で2か所を新たに整備する必要があり、候補用地の選定を進めているところです。整備には、おおむね3年かかると考えていますが、他都市でも導入事例のあるPFI方式など、民間活力を最大限活用することを念頭に、スピード感を持って取り組み、生徒や保護者の期待が大きい全員喫食制の早期実現に取り組んでまいります。

■質問: 黒田武志

私自身も異なる方式のモデル実施を3校視察させていただきました。そのとき、温かくておいしい中学校給食に期待する中学生の声を直接聞いております。「早く、温かくおいしい給食を食べさせてあげたい。」と、強く感じました。

全員喫食の実現は、未来を担う子供たちへの投資であり、全市の子育て支援施策の充実の観点からも、オール神戸市として取り組むべき大きな政策課題ではないかと考えております。久元市長の見解をお伺いします。

■答弁: 久元喜造市長

神戸市政の課題としては、非常に重要なものとして考えています。教育委員会と市長部局が、できるだけ早く実現するという方向性を持ちながら取り組んでいきたい。

■要望: 黒田武志

給食センターが建てられた場合、これは学校給食だけの利用ではなく、食のプラットフォームということを活用して、経済効果を市全体に、そして多様な世代の市民に対して有効活用していけるか、そういった視点が大事だと思います。



給食視察



議会・委員会や日々の活動など、ブログやツイッターで発信しています。

黒田武志 検索



新しい力が未来を開く!!

日本維新の会 神戸市会議員団 政調会長
神戸市会議員 黒田武志 (西区選出)

くろだたけし

自ら身を切る覚悟を示し、行政・議会改革を徹底します。本当に必要な住民サービスを充実させます。西区に住んで良かったと心から誇れる街にするため、全力で神戸市政の刷新に取り組みます。

すみもと

神戸市会議員・須磨区選出

住本かずのり

すますみ便り

ヤル気、元気、本気!



令和3年決算特別委員会
建設局質疑にて

令和3年度の常任委員会は福祉環境委員会に所属しています

常任委員会は昨年度の経済港湾委員会(委員長)から**福祉環境委員会**になりました(令和3年6月より)。所管部局は、福祉局・健康局・環境局になります。新型コロナウイルスワクチン接種が進む中ですが、更なる市民の感染予防に取り組んで参ります。

- その他の役職について
- 外郭団体に関する特別委員会(副委員長):神戸市の外郭団体の業務執行について審査していきます。
 - 阪神水道企業団議会議員

神戸市会
第1回定例会

経済港湾委員長として取りまとめました!

6月 令和3年
議会 6月11日

経済港湾委員会において、初の委員会提案議案「神戸らしいファッション文化を振興する条例」が全議員提出で上程され可決

これは、神戸のファッション文化・産業を振興するため、市や事業者が協力して市内製品のPRなどの情報発信に取り組むなどを定めた条例です。また、市のイベントで物品を提供する際は、できるだけ地場産品を優先して活用する内容も盛り込んでいます。近年は海外製品との競争激化などにより、市内地場産業の売り上げが減少しており、それに加えてコロナ禍が追い打ちをかけ、対面式の販売方法も通信販売に移行しているなど、社会情勢の変化の対応にも迫られています。また、後継者不足も課題であり、人材育成にも取り組む必要があります。条例は産業の底上げと文化の継承の2つの意味をこめたもので、これを機に神戸の文化を再認識してもらいたいと思います。



Point

「神戸らしいファッション文化を振興する条例」【抜粋】

- ・市及び事業者は、市民と共に地場産品を活用し普及し、国内外へ魅力を情報発信すること。
- ・市及び事業者は、ファッション産業の発展に必要な人材を育成する仕組みを構築すること。
- ・市は、観光に関する施策と連携を図り、神戸の地場産品等の観光客による消費促進及び観光資源として活用するに努めること。
- ・市民は地場産品の利用を通して、神戸らしいファッション文化理解を深め、その魅力発信等に協力するよう努めること。

「中学校給食の全員喫食制」への移行に向けた基本方針」が決定

前回の市政報告でもお知らせしましたが、「温かくておいしい」中学校給食全員喫食にむけて、神戸市教育委員会会議で下記内容が決定しました。

実現可能性や費用対効果、効率性等の観点から踏まえ、民間デリバリー方式と給食センター方式(新たに2箇所程度整備)を組み合わせることを基本として、全員喫食制に必要な調理体制を確保する。また、近隣する小学校給食室の余力を活用して給食提供可能な中学校においては親子調理方式の実施を検討する。引き続き中学校給食全員喫食に向けて取り組んでまいります。

民間デリバリー方式
民間事業者で調理して各校に配送する方式

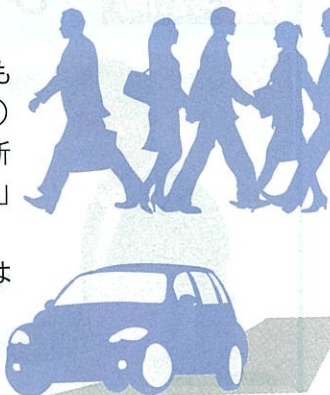
給食センター方式
給食センターで調理して複数校に配送する方式

親子調理方式
近くの小学校で調理して配送する方式



費用弁償見直しにより交通費実費支給が実現!!

私が議会改革として訴えておりました「費用弁償実費支給」が実現しました。これは、神戸市議会では、議会開催日には交通費を想定して徒歩やマイカーで来ても出席1日当たり3000円～5000円(区によって違う。中央区3000円、須磨区4000円)が支給されるものです。平成29年にも代表者会議で提案しておりましたが、この度、維新会派の提案により「議会費削減検討委員会」が結成され「費用弁償廃止」「視察費削減」「議員報酬削減」「政務活動費削減」の4点について協議されました。その中で「**費用弁償実費支給**」が全会派一致で可決されました。残念ながら他の3点は意見がまとまりませんでした(令和3年11月より実施)。これにより議会費が年間1500万円程度削減されることになります。



「身を切る改革」実行中!

上記の「議会費削減検討委員会」ではまとまりませんでした、私は毎月議員報酬手取り相当額2割を被災地等へ寄附を続けています。

今年度寄付状況 令和3年1月から9月分一部

合計 **1,000,000円**

【寄付先】長崎県令和3年8月大雨災害義援金

神戸市会 令和3年9月24日 令和2年度決算総括質疑 本会議場で総括質疑を行いました

Q1 コロナ禍の医師確保について

他の質問は裏面へ続く

住本質問

新型コロナウイルスの感染拡大により、自宅療養者、入院調整中、宿泊療養施設の入所者が増えている中で、自宅療養者の不安解消は重要であり、そのためには往診医師を確保する必要がある。国においては、軽症者を重症化させない策として有効な抗体カクテル療法が、自宅の往診でも利用できるよう検討されており、自宅療養者の容態急変の対応のため、大阪・尼崎・伊丹市等が行っている「ファストドクター」(注1)に代表される24時間体制のオンライン診療や、公募型の医師確保など第6波に向けた往診医師確保が不可欠と考えるが。

小原副市長

現在は、医師会や各病院等と連携の下、自宅療養者の状況に応じて早期に外来受診につなげているところである。また、外来受診が難しい方には、往診や電話診療を行っている。その中で、病状悪化の可能性のある方については24時間健康観察体制の整っている宿泊療養施設に入所してもらっている。これまでも、市民病院や民間病院の医師応援、非常勤医師の採用等で執務医師の確保を行うと併し、医師の24時間電話対応など宿泊療養施設の医師体制を強化してきた。さらに、大学、市内医療機関に対して医師確保の協力要請を行っている。今後も非常勤医師の採用等を行いながら医師確保を図ってきたい。

住本要望

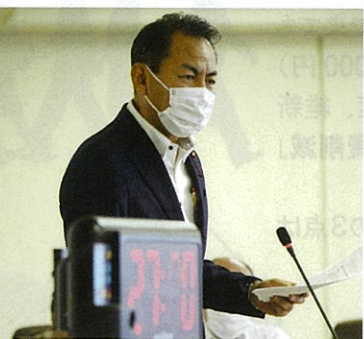
ワクチン接種が進み、若者などの若年者の軽症の陽性患者が増えている現状から、自宅療養者は益々増加すると予想される。オンライン診療の事業者などは、PC、スマホからでも24時間いつでもオンライン相談できる体制ができている。今後の感染状況も見ながら柔軟な医師相談体制の確保をお願いしたい。

Check!

注1 全国の医療機関から構成されている時間外救急の総合窓口。24時間365日体制で活動している。症状に応じて救急病院案内や夜間休日往診、オンライン診療などの適切な医療が選択できる事業者。



環境局 「ひまわり収集」の更なる拡充について



住本 質問 高齢者や障がい者等へのごみ出し支援として「ひまわり収集」を行なっているが、利用要件を緩和したことで、利用件数も増えている。更なる高齢者増加に伴い、このような地域連携の取り組みは重要性を増している。限られた職員でゴミ収集を安定的に実施していくためには、民間に任せられる業務は民間活力を導入して効率化を図るとともに、市職員は地域連携などを強化して、役割を明確化した働き方にするべきでは。

浜本 副局長 社会課題などの時代に応じた市職員の対応や体制が必要と感じている。そして福祉との連携は市の職員がやるべき分野と思っている。それ以外でもごみ収集車は街中を常時走行しているの、救命活動士の研修などの資格取得も9割以上の者がしている。救急インストラクターなどの難しい資格も1割の者が取得している。今後は、地域の高齢化社会を反映したごみ収集とかの処理業務、公の果たすべき役割の変化に応じての再構築をしていきたい。

住本 要望! 現在行われている「ひまわり収集」をさらに一歩踏み込んで、他都市でも行なっているように、ごみ収集時に一声かける「声かけふれあい収集」ができれば更なる福祉の連携につながると考える。今後も官民との業務の明確化を進めて頂きたい。

Check!

ひまわり収集: ごみ出し困難な方を対象とした、玄関先までごみ収集に行くというサービス



建設局 公園緑地の計画的な更新について

住本 質問 市民にとって身近な公園では、老朽化した遊具を新しいものに更新するだけでは画一的な遊具が整備された魅力のない公園となる。時代を見据えた公園にするためには、魅力ある遊具にリノベーションする必要があると考える。今後はどのように魅力ある遊具に更新するか計画を伺いたい。

広瀬 担当局長 現在、公園のリノベーションを進めている中で、子どもの遊び場拠点では、画一的な遊具ではなく、シンボルとなるような大型総合遊具や、子どもがわくわくするような遊具等を整備することで公園機能を高めることに取り組んでいる。

例えば、兵庫区の湊川公園にふわふわドームを設置したり、東灘区の御影公園では年齢や身体体力に関わらず全ての子どもが楽しめるインクルーシブ遊具を整備予定している。またそれ以外の公園でも須磨区天井川公園では地域のシンボルとなっていたカエル型の大型総合遊具をカエルデザインを活かした新しい魅力ある遊具に整備した。今後は地域の意見を聞きながら機能やデザインの異なる魅力ある遊具への更新を進めていきたい。

住本 要望! 最近利用者とか遊び方も多様化しており、東京オリンピックを契機にスケボー等の人気も高まっている。今後はスケボー、BMX、バスケットボールなどの都市型スポーツが行える「アーバンスポーツ構想」も検討して頂きたい。



▲天井川公園のカエル型遊具



Q2 神戸市看護大学のあり方について

住本 質問 神戸市看護大学は、看護師の養成機関であるべきと考えるが、現状の看護大学は市内の他の看護系大学に対して競争率で負けてしまっている(今年度前期入試1.9倍)。また、卒業生の市内就職率(43人46%)も低く、市税を投入している大学から他都市に看護師が流失していることは非常に問題があると思う。市内就職率が7、8割になるよう取り組みを強化するべきではないか。選ばれる大学となるよう今後はどうするのか。

小原 副市長

2021年度はコロナの影響で市外からの志願者が減少して倍率が低下したものと考える。大学では受験生の多い高校等の進学担当教員への訪問、PR活動をさらに強化すると共に、新たに設置した広報戦略室においてホームページの充実など戦略的な広報に努めている。一方で、卒業生の市内就職率向上については、市内の民間病院等と連携を強化し実習の受入先の拡大、合同説明会開催などを通じて市内就職先の選択肢を広げていく。今後は神戸市が設立する大学として、より多くの受験生に選んでもらえるよう、また1人でも多く市内就職いただけるよう取り組んでいきたい。

Q3 適切な財政運営について

住本 質問 神戸市は新型コロナウイルス感染症対策のための財源対策として財政調整基金(注1)を取り崩したことにより令和2年度末の残高は83億円まで減少した。今後、将来の不測の事態に対応するため、新型コロナウイルスが出現する前の水準である120億円程度を目指したいとのことだが、自主財源(注2)が減少している中での今後の具体的な手法、期限についてどう考えているのか。

久元 市長

これまでの震災などの経験を踏まえ、突発的な自然災害時の財政出動をするため、財政調整基金の着実な調整に努め、近年では約120億円規模を維持してきた。長期化するコロナ禍においては、個人市民税、法人市民税などの減収見込みも不透明であり、財政の展望を見通し難しい状況である。現時点では、120億円回復を前提に来年度予算を編成するのは困難である。今後は行財政改革方針2025(注3)の取り組みをはじめ、適切な予算執行に努め、早期にコロナ禍以前の水準に回復できるよう予算執行に努めていきたいと考える。

住本 再質問

自主財源が減少しており、一気に基金を増やすのは難しい。自主財源の確保としては、税収増の他には、事業の見直し、遊休資産の売却、債権管理を確実に実施することが必要である。「内部統制評価報告書」によると、「債権管理の意識が希薄な所属が見受けられる」とある。今後の税収増が見込まれない中、債権回収を着実に進めていく必要があると考えるが。

今西 副市長

そのような意見が記載されたことは大変残念で、大変申し訳ないことだと思っている。そのような指摘はもう看過できないことなので、早急に改める必要がある。債権管理台帳の整備、交渉経緯や納付記録の徹底など、全庁的に債権に関するものについてはできるだけ早くチェックを行い、適正な債権管理の下で債権回収を着実に進めていく。

住本 要望!

神戸市の約188億5千万円ある債権は、国保や市税などの滞納で生じている。市民負担の公平性を確保するためには、「神戸市債権管理に関する条例」の事務処理手順に沿って業務を実行し、着実な債権回収を行い歳入確保に努めていただきたい。

Check!

注1 地方公共団体が年度間の財源変動に備えて積み立てる資金。財政に余裕がある年度に積み立て、災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年に活用する。

注2 市民税などの地方税の他、使用料、手数料、分担金、寄附金、財産収入、収益事業収入など自治体が自ら徴収できる財源のこと。

注3 今後、神戸市の行財政運営が厳しくなる中での「スマート自治体」を目指した今後5年間の行政・財政運営の方向性を策定したもの。

●市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

公式サイト <http://www.k-sumi.jp>

E-Mail suma@k-sumi.jp

●発行: 日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号1号館29階
TEL: 078-322-0185 FAX: 078-322-0184
神戸市須磨区支部
〒654-0051 神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号
TEL: 078-735-8231 FAX: 078-735-8231

住本かずのり Facebook

住本かずのり 検索

住本かずのり(須磨区選出)

市政相談受付中

